



Saiseikai
Maebashi Hospital

issue 02

July.2024



PICK UP DOCTOR 齋藤 直人 | 総合内科

結果だけでなく「理由」も添える、それが医師の責務と自覚しています

TOPICS

- 1 『生化学自動分析装置』を更新しました
- 2 医療安全のため!! 「院外処方箋に検査値」を表記いたします
- 3 絵画作品紹介
- 4 2024年度からの新副部長、新師長紹介
- 5 災害訓練を行いました
- 6 病棟名を変更しました

広報誌名『es』の由来

- SAISEIKAIのS ●SAVE (救う)のS
- ENGAGE (地域と済生会を繋ぐ)のE
- 複数形(1人じゃなくみんな)のes

これらすべての意味を込めました。



結果だけでなく「理由」も添える、
それが医師の責務と自覚しています

PICK UP
DOCTOR

齋藤 直人

Naoto Saito

総合内科 医長



A2病棟師長が
インタビューしました

Q1

総合内科は普通の内科と何が違うのですか？

内科の中にもそれぞれの専門分野があります。例えば当院の内科には血液内科、腎臓リウマチ内科、循環器内科、消化器内科、内分泌・糖尿病内科、呼吸器内科、などがあります。総合内科は、敢えてそういった専門性をもたない診療科です。特定の分野に限らず、幅広い診療を行います。病院によっては「一般内科」や「総合診療部」などという場合もあります。

Q2

総合内科はどんな時に受診するのですか？

体調が悪い、今までなかった症状が出てきた、検診で異常を指摘された、などで病院に相談に行きたいけれど、何科を受診すればよいのかわからないということがあると思います。そういったときに受診すると良いと思います。症状に応じて必要な診察や検査を行い、治療についてはそのまま総合内科で行う場合もありますし、必要があれば他の専門科に紹介する場合もあります。

Q3

どういう症状の方が多く受診されますか？

検診で異常を指摘されたため精密検査を受けたいということで受診される方や、ご自身の症状がどの診療科に該当するものなのかというご相談で受診される方などがおられます。医療職でない一般の方が、どの診療科を受診すればよいかわからないというのは当然ですので、是非ご相談いただければと思います。また、中には「特に専門科のない疾患」というものもあります。総合内科での入院治療が必要、などで地域の開業医の先生方からご紹介をいただくこともあります。

Q4

初期診断のために大事なことは何ですか？

まずは患者さんのお話をよく聞くことだと思います。患者さんのお話の中から、患者さんが一番訴えたいことと、医学的に重要な情報を内科医としての視点で整理していきます。症状に苦しんでいる方、病気に不安を感じている方が、話したいことをご自分で医学情報として整理して、理路整然と説明する必要はないと思っています。患者さんの症状や経過をまとめた上で、必要な検査や処置を考えていきます。はじめの情報が誤っていれば正しい検査に繋がりませんし、検査が誤っていれば正しい診断に繋がりません。患者さんの話を聞くというのは、当たり前のことのようで実は診察の中で最も重要なプロセスです。私もまだ診察の技術や情報収集力に十分習熟しているとはいえません。日々訓練を続けているところです。



Q5

齋藤ドクターの得意分野は何ですか？

私は2024年4月から当院の総合内科で診療をおこなっておりますが、それ以前は消化器内科で特に肝臓を専門にしていました。事情により消化器内科・肝臓内科の専門的な手技や処置はもうできませんが、消化器内科の経験で培った知識や考え方は、現在の診療にも役立っていると感じています。

Q6

確定診断まで、患者さんは不安だとは思いますが診療にあたり齋藤ドクターが心がけていることはありますか？

何より重要なのは、患者さんにしっかり説明をすることだと思っています。人が不安になるときの多くは「わからない」ことが原因だと思います。まだ診断がついていない段階での不安を少しでも和らげるために、診察の目的・理由やその時点で医師が考えていることを、なるべく説明したいと思っています。例えばただ「レントゲンを撮りましょう」というのと、「肺炎の可能性があるのでレントゲンを撮りましょう」というのでは、印象が違うのではないのでしょうか。検査結果も「血液検査は異常ありませんでした」と言われるより、「胆管炎や膵炎を疑って血液検査をしましたけど、異常ありませんでした」と言われた方が、検査した理由や結果が伝わりやすいだろうと思います。まだ診断が確定していない段階でも、お伝えできることはあります。これは医療に限った話ではありませんが、「説明がない」というのは誰でも不安になります。病院で医師が行う一つ一つの検査、医師が処方する一つ一つの薬、その全てに意味と目的があります。私の知る限り意味のない検査や治療を行う医師はいないのですが、それが伝わらないと患者さんは不安になってしまうと思います。説明することは医師の責務と自覚して今後も意識していきたいところです。



『生化学自動分析装置』を更新しました

当院は、令和5年度日本損害保険協会自賠責運用拠出事業の寄付金を受け、令和5年12月に日立ハイテク社製生化学自動分析装置『LABOSPECT008α』を整備いたしました。

この装置の特徴は、微量検体（最小サンプル量 1.2μl）での分析を可能とし、品質の高いデータを迅速に正確に検査（2,000テスト/時）する能力を備えています。当院では、24時間365日断らない救急体制をとっており、今回の装置導入により、交通事故患者さんを含む救急外来患者さんの緊急検査を迅速・正確・安全に行うことができるようになりました。特に採血量が限られる高齢の患者さんにとっても負担軽減に繋がる、非常に有用な装置です。



医療安全のため!!「院外処方箋に検査値」を表記いたします

昨今、お薬の使用では“違法薬物の乱用”や“オーバードーズ”といった不適切な使用”等のニュースが世間を騒がせております。お薬の使用にあたっては間違いの無い、自分に合ったお薬の使用が重要となります。そこで、当院ではお薬の適正使用を推進するため、患者さんが受け取る処方箋に検査値の一部を表記する取り組みを2024年5月31日から開始いたしました。

この取り組みはお薬を服用する皆さまの、処方薬の適正な使用量や早期の副作用の発見が可能となり、より安全にお薬を使用することができる重要な情報となります。また、保険薬局へ検査値を提出することで、薬局の薬剤師さんがより皆さまの状態把握ができます。普段気になっている検査の項目についてや、わからないことなども相談できます。

お薬による治療を安心・安全に行うための取り組みとなります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

ご不明な点などございましたら、当院の薬剤部窓口までお問い合わせください。

(薬剤部長 吉田 仁志)

項目名	検査名	検査値	単位	検査日	検査所
血糖値	血糖値	100.0	mg/dL	2024/12/01	当院
血圧	血圧	110/70	mmHg	2024/12/01	当院
心電図	心電図	正常		2024/12/01	当院
肝機能	AST	15	U/L	2024/12/01	当院
	ALT	10	U/L	2024/12/01	当院
	γ-GTP	20	U/L	2024/12/01	当院
	胆红素	0.5	mg/dL	2024/12/01	当院
	尿素窒素	10	mg/dL	2024/12/01	当院
	クレアチニン	0.8	mg/dL	2024/12/01	当院
	尿酸	5.0	mg/dL	2024/12/01	当院
	乳酸脱水素	100	U/L	2024/12/01	当院

※院外処方箋の検査値は図のオレンジ色で囲まれた部分に記載されます。検査日については最新の検査値が反映されますが、測定が180日以上ないと空白になります。

※薬局への検査値の提示を望まない場合は、処方箋の用紙中央の点線「-----」で切り離して、左側の「院外処方箋」のみを薬局へ提出することも可能です。

絵画作品紹介

毎年、夏休みに地元小学校3校を対象とした絵画作品コンテストを開催し、当院の外来に展示させていただいております。テーマは「あったらいいな、こんな病院」です。昨年度病院賞に輝いた絵をご紹介します。



東小学校 2年3組 小林 かなせ さん

2024年度からの新副部長、新師長紹介

副看護部長 仁科 砂織

管理者として、看護師がやりがいを感じ、生き活きと働ける組織作りに取り組んでいきたいと思います。そのため、お互いに思いやる気持ちを持ち、コミュニケーションを図り協力し合い、何でも話し合える、いつでも相談できる関係性・環境作りを行っていこうと思います。

また、看護部として、思いやりと温かさのある看護を実践し、患者・家族の方に寄り添い安心して当院を利用していただける組織を目指していきたいと思います。

感染対策室師長 櫻井 佐智子

当院では、患者さんと職員のみなさんを微生物感染から守ることを目的として病院全体で感染対策を実践しています。感染対策室は感染対策を実践するための中心となる部署です。新型コロナウイルス感染症は落ち着きつつありますが、いつかまた発生するかもしれない新しい感染症に対応できるよう準備もしています。これからも患者さんと職員のみなさんとの繋がりを大切にして感染対策の輪を広げていきます。

A5 病棟師長 小林 香織

当病棟には、さまざまな病気の患者さんが入院するため、疾患を理解した上で患者さんへの対応が必要です。患者さんに寄り添った看護が提供できるよう日々研鑽しています。患者さんが安心・安全に入院生活が送れるよう他職種と連携をとり、1人ひとりに合わせたサポートができる病棟を目指しています。

皆さんに、この病院を選んで良かったと思っていただけるよう努力して参ります。

HCU 師長 瀬川 雅代

HCU には重症な患者さんや手術後、緊急で入院となる患者さんが入院します。急病の際にお役に立てるよう個々のスタッフが切磋琢磨しています。急な入院や手術などで不安を抱えている患者さんやご家族に寄り添い、安心して治療を受けていただけるよう尽力していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

手術・中央材料室師長 吉澤 良子

手術室は緊張感の高い特殊な場所です。安心・安全な手術室を目指して、医師をはじめとするチームで取り組んでいきたいと考えております。当院では、2022年よりロボット手術を導入し、いつでも最新・最良の医療が提供できるよう、日々、精進しています。手術室は患者さんが決意を固められる場所なので、私たち手術室スタッフが全力でサポートできる環境作りを心掛けていきたいです。



災害訓練を行いました

6/8(土) 職員約150名で大規模な災害訓練を行いました。毎年新入職員も含め傷病者受入訓練を行っています。災害時に職員が慌てず一丸となって地域を支えられるよう、災害拠点病院として機能強化を図って参ります。



病棟名を変更しました

2024年4月1日より患者さんに覚えていただきやすいよう病棟名を変更しました。

消化器・腎臓内科病棟

→ **A6 病棟**

整形外科病棟

→ **A5 病棟**

外科・腹腔鏡外科センター

→ **A4 病棟 (外科・腹腔鏡外科センター)**

循環器内科・心臓血管外科病棟

→ **A2 病棟**

白血病治療センター

→ **B3 病棟 (白血病治療センター)**

小児・一般内科病棟

→ **B2 病棟**

緩和ケア病棟

→ **C2 病棟 (緩和ケア病棟)**

HCU

→ **HCU**

シリーズ そうだ！人間ドックに行こう！



4月より食事メニューをリニューアルしました

当院の検診センターでは日帰り人間ドック・一泊人間ドックを受けていただいた方に検査終了後の食事サービスを提供しています。和定食や洋定食、日替わりメニューの中から好きなものを選んでお召し上がりいただき、美味しいとご好評をいただいています。メニューは旬の食材を中心に数多くの品目を取り入れながら、当院管理栄養士による塩分・カロリー計算を行ったバランスの良いメニューとなっています。

人間ドックを受けた後に食べる食事は「これから生活習

慣を見直そう！」と思いを新たにしてもらった最初の食事です。バランスの良い食生活を心がけることは生活習慣病の予防につながり、結果的に健康寿命を延ばすことや、日常生活動作や生活の質を向上させることに繋がります。人間ドックの食事を通して普段の食事を見直すきっかけにいただけたら幸いです。ぜひ、当院の人間ドックを受けていただき、お食事もお楽しみください。

検診センター 事務 田嶋祐香



オクラとツナの和風冷やしそうめん

夏に旬を迎えるオクラ。独特のねばねばとした成分は主にガラクトタンやペクチンなどの食物繊維です。

ペクチンは整腸作用を促し、便秘や下痢を予防するほか、コレステロールを排出する作用でも知られています。

だしの旨味とカレーの風味で食欲をそそるオクラを使ったレシピをご紹介します。



【材料 1人前】

そうめん	2把 (100g)
ツナ	1缶 (70g)
オクラ	3本
冷水	50ml
めんつゆ	大さじ 1
カレー粉	小さじ 1
和風だし	小さじ 1/2
かつお節	1g

【作り方】

- ① ボウルに A を入れて混ぜ、冷蔵庫で冷やしておく。
- ② オクラは水洗いし、水気のついた状態でラップで包み 600W のレンジで 20 秒加熱する。
- ③ 粗熱がとれたら両端を切り落とし、小口切りにして冷蔵庫で冷やす。
- ④ そうめんはパッケージの表記通りに茹で、氷水で冷やす。
- ⑤ ①にそうめんを加え、汁を絡めて器に盛る。そうめんの上に油を切ったツナ、かつお節、オクラをのせて完成。

【栄養価 (1人前)】

エネルギー	556kcal
たんぱく質	25g
脂質	16.7g
炭水化物	76.4g
塩分	3.3g



前橋フォレスト内科外科クリニック

院長 石崎嘉宏

診療科 内科, 呼吸器内科, 糖尿病内科, アレルギー科, 外科, 小児外科



2024 年 4 月に開院いたしました。内科・外科・救急・総合診療外来で 20 年以上にわたり培ってきた経験と技術を皆さまにご提供し、地域医療に貢献したいと思っています。地域の皆様にいつでもご相談いただけるホームドクターとして、患者さまに寄り添った丁寧な診察と、患者さまを第一に考えた診療をスタッフ一同心掛けております。お気軽にご相談ください。

診療内容

内科・外科を総合的に診療し、なるべく一ヶ所での通院で完了するよう、医療を提供していきます。

(総合内科)

「体の調子が良くないけどどの科にかかればいいのかわからない」「何の臓器が悪いかわからない」などのお悩みにお応えします。原因不明の体調不良でお悩みの方もご相談ください。呼吸器内科、糖尿病内科、アレルギー内科など内科全般対応しております。

(総合外科)

救急外科疾患への初期対応からプライマリケアに必要な小さな外科的処置まで、適切な処置を行います。外傷(擦り傷、切り傷、咬傷、やけど)、とげ等の異物刺入、痔、肩こり、腰痛、膝痛、手足のしびれ、神経痛、腎臓、尿管、膀胱結石など、日常的によく起こる体の痛みや不都合、違和感を幅広く診療いたします。

(検査)

CT、レントゲン、腹部・心臓超音波などを完備し、正確な診断に基づいた診療に努めていきます。

診療時間 月 火 水 木 金 土 日

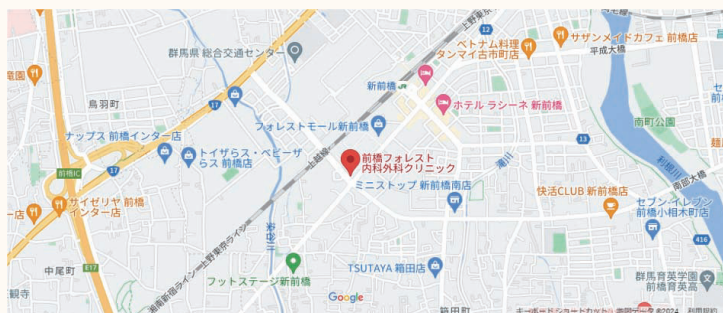
午前 8:30-12:00 ● ● ● ● ● ×

午後 13:30-17:00 ● ● ● ● × × ×

・休診日 金曜午後・土曜午後・日曜・祝日

住所 前橋市古市町 180-3
(フォレストモール新前橋店内)

TEL.027-252-7001



外来医師診療表

2024 年 6 月 1 日～

【午前】受付時間：8:30～11:00（診察開始：9:00）※内科総合外来（初診）以外は予約制 【午後】完全予約制
◆休日◆ 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）

		月	火	水	木	金
内科総合外来	午前	直田	直田	直田	齋藤	齋藤
	午後	—	—	〈再診〉齋藤	〈再診〉直田	〈再診〉直田
血液内科	午前	星野	—	飯野	高田	初見
	午後	—	高田 初見 星野 飯野 吉田 反町	—	—	—
腎臓リウマチ内科	午前	馬場	内藤 【CKD外来】木村（10:30～紹介）	三島	三島（9:30～紹介）	半田
	午後	木村	—	—	—	三島
内分泌・糖尿病内科	午前	—	石田*	—	—	荻原
	午後	荻原	—	青木*	荻原	—
呼吸器内科	午前	—	河俣	宇津木	久田*（第3休）	—
	午後	宇津木	—	—	—	宇津木 河俣
消化器内科	午前	【消化管・胆・膵】中野	【肝臓】畑中	【胆・膵・胃】吉永 【胆・膵】吉田	【胆・膵・胃】田中（9:30～10:30） 【大腸】蜂巢	【胃・大腸・胆・膵】迫 【肝臓】金山
	午後	—	—	【大腸】家崎*	【肝臓】畑中 金山	—
循環器内科	午前	池田 館野 布施	中野 福田 戸島 布施	中野 福田 戸島 布施	中野 館野 土屋 布施	池田 土屋 【睡眠障害外来】（第5休）福田 直田
	午後	【禁煙外来】池田	—	【ハ°-スメーカー外来】池田 【弁膜症・先天性心疾患外来】館野	—	—
外科	午前	【胃・大腸・ヘルニア】藍原 大木 古家	【肝胆膵・大腸】細内 【乳腺】鈴木（茂） 【肝胆膵】石井	西田 【膵癌専門外来】細内 【胃・大腸・ヘルニア】藍原 大木	【胃・大腸・ヘルニア】藍原 【食道】鈴木（茂） 八木 鈴木（奈）	【肝胆膵・大腸】細内 【肝胆膵】石井 【肝胆膵】八木
	午後	—	—	—	—	石井
緩和ケア外来	午前	—	—	—	—	—
ストーマ外来	午前	○	—	○	○	—
呼吸器外科	午前	—	茂木	—	—	茂木
整形外科	午前	後藤 長谷川 丹下	中島 武智	中島 大倉 大谷	長谷川 武智 丹下	後藤 大倉 大谷
	午後	—	—	—	—	【脊椎】井野*（第3）
リハビリテーション科	午前	白倉	白倉	白倉 外山*	白倉	白倉 外山*
	午後	—	【装具外来】	—	—	—
眼科	午前	中村【第1・3・5特殊検査のみ】	中村	福地* 中村	中村	中村
泌尿器科	午前	鈴木*	—	—	—	—
麻酔科ペインクリニック	午前	〈再診〉中島	〈再診〉中島	〈再診〉中島	〈再診〉中島	〈初診〉中島
緩和ケア内科	午後	—	平山	—	平山	—
栄養サポート外来	午前/午後	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○
療養指導	午前/午後	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○
フットケア	午前/午後	—/○	—/○	—/○	—/○	○/—

※整形外科・麻酔科ペインクリニック・緩和ケア内科は**完全予約制**です。 【*：非常勤医師】
※担当医は変更することがあります。

お問い合わせ 027-252-6011（代表）

紹介状をお持ちの方は、事前予約（内科総合外来以外）をお願い致します。
TEL.027-252-1751 直通（地域連携課）

患者さんへ

●前橋市成人健康診査のお問い合わせ：TEL.027-252-6011 内線 1101（医事課窓口）
●人間ドックのご予約：TEL.027-252-1959 直通（検診センター）

介護関連

●入所・通所に関するご相談：TEL.027-254-0108（老人保健施設あずま荘）
●前橋市高齢者福祉サービスのご相談・介護保険サービスに関するご相談
TEL.027-255-1511（居宅介護支援事業所あずま荘）

交通のご案内

●新前橋駅よりバスまたはタクシーで10分
●前橋駅よりバスで20分
●高崎駅よりバスで40分
●前橋市コミュニティマイバス（100円）もご利用いただけます。